

リハビリテーション看護	4年・後期	1単位 15時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121083

1. 授業のねらい・概要

学生は、リハビリテーション看護分野の概念をふまえ、看護の役割や機能を学ぶ。具体的には、リハビリテーション看護を必要とする対象を包括的に理解し、発達段階や健康レベル、障害の種類からみた対象の特性と看護介入の特徴を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. リハビリテーション看護の定義や流れが説明できる。(D-2)
2. リハビリテーション看護や、他職種連携のあり方について説明できる。(D-2)
3. リハビリテーションチームの対象や特徴、役割、機能について説明できる。(D-2)
4. 疾病の詳細、運動器障害でのリハビリテーション看護の介入について説明できる。(D-2)
5. 中枢疾患系のリハビリテーションプログラムや看護介入方法について説明できる。(D-2)
6. 呼吸器・循環器・感覚器系のリハビリテーションプログラムやリハビリテーション看護の介入について説明できる。(D-2)
7. 障害者の機能評価の方法や尺度について理解し、日常生活での看護介入方法について説明できる。(D-2)
8. 疾病発症時期に見合った看護過程や介入方法について説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義を中心に進める。学生の主体的な取り組みを期待する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、リフレクションを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：メールやチャット等による学生と教職員間での学習に関するコミュニケーションの機会。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	リハビリテーション看護の概念	講義	予習：リハビリテーション看護についてイメージしておく 復習：リハビリテーションの定義や理念、障害者の定義等について振り返る	石久保雅浩
2	リハビリテーションチームの特徴、役割、機能	講義	予習：リハビリテーションに関連する他職種について学習しておく 復習：リハビリテーション看護や、他職種連携のあり方について振り返る	石久保
3	機能障害別リハビリテーション看護（1）運動器系の障害	講義	予習：解剖学的な運動器系の障害について学習しておく 復習：疾病の詳細、運動器障害でのリハビリテーション看護の介入を理解す	石久保

			る	
4	機能障害別リハビリテーション看護 (2) 中枢神経系の障害	講義	予習：解剖学的な中枢神経系の障害について学習しておく 復習：中枢疾患系のリハビリテーションプログラムや看護介入方法を理解する	石久保
5	機能障害別リハビリテーション看護 (3) 呼吸器・循環器・感覚器系の障害	講義	予習：解剖学的な呼吸器・循環器・感覚器系の障害について学習しておく 復習：呼吸器・循環器・感覚器系のリハビリテーションプログラムやリハビリテーション看護の介入について理解する	石久保
6	障害を持つ人の機能評価と生活援助技術	演習	予習：障害者における日常生活の影響を学習しておく 復習：障害者の機能評価の方法や尺度について理解し、日常生活での看護介入方法を理解する	石久保
7	疾病発症時期と看護過程	講義	予習：急性期から終末期までの経過を学習しておく 復習：疾病発症時期に見合った看護過程や介入方法について理解する	石久保
8	知識試験	演習	予習：授業で学習したリハビリテーション看護の総合的な学習をしておく 復習：授業を全体的に振り返る	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）80%，授業中の態度 20%を総合して評価する。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価を基に 5 段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、講義内で説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：著者代表 原三紀子（2024）系統別看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 第 7 版 医学書院

参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲、および、事前事後学修（学修課題）について、最低 90 分の予習及び授業内容について最低 90 分の復習を行なうこと。

学習内容に関する質問は、メールでも対応する。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要であり、参加態度として評価対象とするので注意すること。

遅刻、無断欠席および講義中の私語、授業に関連する作業以外の行動は禁止とする。グループワークは、主体的かつ協働的に参加すること。

遅刻は、1 コマ中 45 分未満の欠課を 1 欠課、45 分以上の欠課を 2 欠課とし、合計 8 欠課を 1 欠席とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
試験終了後に口頭で説明する。課題レポートの講評は講義内で行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

この科目は選択科目である。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。